

## 普及活動情勢報告（令和元年5月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 米作りは大変！ ～野根地区で田植え体験学習～



真剣に田植えに  
取り組む児童たち

4月22日、東洋町野根地区で野根小学校と甲浦小学校の3・4年生9人が、田植え体験学習をしました。

農業改良普及課室戸支所は、時折、クイズも交えながら苗の植え方を指導し、児童たちは興味津々に聞き入っていました。

天候に恵まれ絶好の田植え日和となり、児童たちは今か今かと水田に入りたがっていて、地元の水稲農家やJA営農指導員の補助のもと、笑顔を見せながら楽しそうに田植えをしました。「機械で植えたら速いけど手で植えたら達成感があって良かった」と、周りの大人を驚かすような素晴らしい意見も出ていました。

農業改良普及課室戸支所は、稲作を通じて食への関心を高めてもらうため、今後も食育を推進します。

### 農村女性リーダー協議が総会を開催!! ～安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会～



今年度もがんばって  
活動していきましょう!!

4月23日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会が安田町ふれあいセンターで総会を開催し、14人が参加しました。

総会では、平成30年度活動報告と平成31年度活動計画について協議しました。「つどい」については今年度も開催することと、他地区の女性リーダーの活動事例について現地研修を行うことが決まりました。また、5月29日に芸西村で開催される高知県農村女性リーダーネットワーク総会及び研修会の内容や役割分担を確認しました。

農業改良普及課は、はちきん農業大学等についての情報提供を行いました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダー協議会が自主的な計画活動を実施できるように支援します。

### 「ハウス野菜栽培管理こよみ」作成中！



意見を出し合い  
「こよみ」を更新しています。

4月26日から、JA高知県あき支所で、農業改良普及課職員とJA営農指導員による「令和2年園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」（以下、「こよみ」）の検討会が始まりました。「こよみ」はJA高知県安芸地区園芸研究会が農家の栽培技術の向上を目指して、従来の栽培技術に新技術などを組み合わせた内容になるよう検討しています。

また、農薬の天敵への影響などにおいては、現場の声も反映させるようにしています。

農業改良普及課は、今後も引き続き、JA営農指導員と十分な検討を行い、7月には「こよみ」が配布できるように作成を支援します。

**栽培終了まで残り1ヶ月、最後までナスを取り切ろう！**  
**～安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会営農相談日～**



栽培終了までしっかり管理して  
ナスを取り切りましょう

農業改良普及課とJA営農指導員は、安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会を対象に出荷に訪れた生産者に対して毎月1回、営農相談を開催しています。

5月の営農相談では、栽培終了までの残り1ヶ月間を乗り切るための温度管理やかん水・肥培管理などについて指導し、また3月から安芸集出荷場で運用が開始された高知県園芸生産予測システムについて周知しました。

今回の営農相談中には新たに2人の生産者が高知県園芸生産予測システムの利用を始めました。生産者からは「自分の出荷量や品質をスマホでチェック出来るのは便利」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、JA営農指導員等関係機関と連携し、栽培終了まで品質の維持ができるように指導します。

**オクラの生産振興を目指して現地講習会を開催！！**  
**～中芸集出荷場研究会オクラ部会現地講習会～**



先輩生産者に質問する新規生産者

5月8日、9日、14日、15日、中芸集出荷場研究会オクラ部会が露地オクラの現地講習会を4地区で開催し、部員30人が出席しました。

農業改良普及課は、今年の気象や生育状況を踏まえて、今後の草勢管理ポイントなどについて指導しました。また、セル苗で定植したほ場では定植機械について紹介しました。

新規の生産者の参加もあり、普及指導員・営農指導員や先進農家に初期の病虫害防除対策や栽培で疑問に思っていることについて質問するなど活発な情報交換ができたことで、栽培管理について理解を深めることができました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と連携して部会活動を支援し、オクラの生産を振興します。